

2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 タ マ ホ ー ム 株 式 会 社
住 所 東 京 都 港 区 高 輪 三 丁 目 2 2 番 9 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 木 伸 弥
(コード番号：1419)
問 合 わ せ 先 取 締 役 戦 略 本 部 長 兼 経 理 部 長 西 堀 祐 介
TEL. 03-6408-1200

2027 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 説 明 会 (テ レ フ ォ ン カ ン フ ェ レ ン ス) に 関 す る
質 疑 応 答 概 要 の 公 開 に つ い て

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。
当社は本日、2027 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 説 明 会 を テ レ フ ォ ン カ ン フ ェ レ ン ス 形 式 に よ り 開 催 い た し
ました。
ご出席いただきました皆様から同決算に関するご質問を賜り、ご回答を行っております。
以下、質疑応答概要につきましてお知らせいたします。

【質疑応答概要】

Q1.

現在行っている来場促進キャンペーンが商談や成約に結びついているのか教えてください。

A1.

住宅をご検討されているお客様を中心に多くのご来場につながっております。
また、その中で土地を所有していないお客様が多くご来場されており、戸建分譲の受注が非常に堅調
に推移しております。

Q2.

不動産事業における足元の仕入・販売はどのような状況でしょうか。

また、税制改正等のマイナス影響はございますでしょうか。

A2.

第 1 四 半 期 は 前 年 同 期 比 で 減 収 と な り ま し た が、市場環境や物件の収益性を見極めながら適宜適切な
判断で仕入と販売を実施することができております。

また、税制改正によるマイナス影響はないと考えております。

今後も都心 5 区を中心に、物件の収益性を見極めつつ、優良な仕入を行うとともに、大型物件の仕入
検討も行っております。

Q3.

当第 1 四半期の業績は前年同期比で減収減益となりましたが、着地は概ね計画通りに進捗しているのでしょうか。

また、その背景や計画通りに着地できた具体的な要因について教えてください。

A3.

前期の受注低迷期における引渡の影響等により第 1 四半期は減収となりましたが、概ね期初の想定どおりに進捗しております。第 2 四半期以降の業績回復を見込む中、回復傾向にある注文住宅事業に加え、戸建分譲事業やリフォーム事業の好調な推移を軸に通期計画の達成に向けて推進してまいります。

Q4.

戸建分譲事業について、受注金額の増減率に対し、引渡金額の増減率が控えめとなっておりますが、受注から引渡までのリードタイムはどのくらいか教えてください。

また、分譲地の仕入は順調に進捗しているという認識でよろしいでしょうか。

A4.

完成物件における戸建分譲のリードタイムにつきましては、ご契約から 2 ヶ月以内にお引渡しとなるケースが多くなっております。

また、分譲地の仕入につきましても、計画通り進捗しており、今後に向けた十分な仕込みができていますと考えております。

Q5.

戸建分譲事業が好調に推移している背景について、金利上昇や賃料上昇、駆け込み需要等の影響も含め、具体的な要因を教えてください。

A5.

戸建分譲事業が好調な要因として、金利上昇に伴い、ご契約から短期間でお引渡しできる完成物件を選択されるお客様が増加しております。

今後の金利上昇による負担を抑えたいお客様のニーズに対応できている点に加え、土地をお持ちでないお客様に対し、優良な分譲地を適切にご紹介できている点も好調な推移を支える要因となっております。

Q6.

注文住宅事業において、減収となる中で利益改善を達成できた背景や収益性が上がっている具体的な要因を教えてください。

A6.

資材価格等の動向を踏まえた見積提示や商品・仕様の見直しにより収益性の改善を図っております。今後も資材価格や人件費等の上昇が想定される中、販売価格と原価の双方を適切にコントロールし、継続的な利益確保に努めてまいります。

以 上